

自主的に

生徒指導部 田中 和幸

本年度は創立百十周年の記念すべき年となりました。あらゆる機会に、あらゆる場面で加治木高校生のあるべき姿が論じられました。時代がいくら変わっても、我々の追い求める高校生像に変化はなさそうです。校是の「清新澗刺、質朴剛毅、堅忍不拔」にしる、海音寺潮五郎さんの「人間美学」にしる、その目指すべき姿はひとつであるように思います。どのようにしてこういった理想像を形づくる土壌を培っていくのか、具体策をうち出すのは難しいですが、学校生活においては、つぎの三点を整えていくことが生活の基本となるはずで

① 挨拶 心を開く

朝、初めて顔を合わせた時、授業の始まり等、まずは自分の心を開いている証として、とても挨拶が大切になります。コミュニケーションを苦手とする若者が多くなっていますが挨拶の励行はその解決の糸口となります。

② 容儀 心を整える

公私の別をつけられない生徒が多くなっているように思います。普段着のままの感覚で公の生活に入っていくと心の切り替えはできません。制服をきちんと着こなすことは、心の切り替えの第一歩となります。

③ 清掃 心を磨く

自分の生活している場への感謝の気持ちを具体的に表したものが清掃です。生活の場を清めていくことは心を清めていくことにつながります。来年度から次の十年の一步を踏み出すことになり。地域の範となり、思いやりの心を育みながら、自主的に自らを律していける加治木高校生が育っていくことを願っています。

知っていることをしていることへ

保健部 中村 万里子

「知っているけどしていない」というキヤッチフレーズを多少なりとも耳にされたことがあるでしょう。エコの時代は実践あってこそを強調する表れと思われる。

ところであなたは、将来的にもメタボリックシンドロームにならないという生活習慣を送っていますか？人は誰でも太りやすい体質を持っているといわれます。それは人類の歴史を見ると、「食料が豊富な時代」よりも「飢餓との戦いの時代」のほうが長かった。「飢餓には強いが飽食には弱い」遺伝子ができて、その結果人間は省エネ・エコタイプになっているのです。私たちの日常生活では機械化・自動化が進み、その上食品の高脂肪化が加わり、これに運動不足が重なると、摂取エネルギーと消費エネルギーのバランスはあつという間に崩れ肥満になるというわけです。

「そんなの関係ねえ」で「食べたいものが目の前にあるから」「好きなものを好きなだけ食べるのが」「美味い食べ物食べるのが花」の結末がメタボリックでは、たとえ自分で選択したとはいえ、きつと症状が現れる頃は後悔するに違いありません。自分の身体状況を把握することを怠らず、このままでは不都合が起きると自覚したら、習慣を変えるグッドタイミングと捉えて悪習を断ち切ってみましょう。

人との関わりに喜びを見出すように、食事も個食より家族で、あるいは仲間と食べるほうがおいしいに違いありません。複雑でスピーディな現代社会だからこそ「頭を使って知的に食べる」努力が必要です。自戒を込めて「知っているけどしていない」から「知っていることはしていることへ」の変革を！

進路実現のために

進路指導部 鮎川 武良

以前こんな話を聞いたことがある。「勉強とは、単に机に向かって学習することではなくて、目的に立ち向かわせる心構えや困難に打ち勝ち心根を作ることである。勉強の勉強の字はつとめるという意味、強の字ははいるという意味であり、苦しいことやいやなことであっても、目的を達成するために頑張ることである。だから、勉強は苦しいことであり、その苦しみに耐え、打ち勝ち心構えを作るべく、意図的に強いてつとめる態度が学力を向上させ、自己の進路実現につながるのだ」と。

そこで私たちにできることは、子どもたちに、

①「将来、何をしたいか？今、何をすべきか？」を考えさせ、

②高い目標をもたせ、

③授業中心の学習スタイルを確立させることである。

そして、

④「君ならできる。自分の限界に挑戦しろ」と励まし、子どもの声に耳を傾けることである。

保護者と教員が協力して自分の目的に力強く突き進む子どもを育てていきたいものである。

さて、一月十九日、二十日に大学入試センター試験が実施された。志願者数は昨年度よりおよそ一万人減少し、約五十四万三千人となった。本年度は、国語・地理・現代社会・数学ⅠAなどで平均点が上がり、世界史・日本史・英語などで平均点が下がった。リスニングテストでは再試験を受けた受験生は減少したようである。(本校での対象者は、昨年度に続き本年度もなし。)新課程入試三年目のセンター試験であり、昨年度極端に難化した分、今年度はやや易化したようである。本校では全国同様、昨年より得点率は上昇した。しかし、理系科目で平均

を下まわるなど受験の厳しさを感じさせられた。自ら考える力、思考力を鍛える必要を感じる結果となった。

三年生は現在、国公立大学への出願も終わり、個別学力試験(二次試験)に向けて、それぞれ特別授業などに一生懸命取り組んでいるところである。卒業生諸君にはこれまで通り、思いやりのある率直な心と自ら考え取り組む姿勢、目標を立てそれを達成する強い心、最後まであきらめない心を持ち続けること、希望に満ちた将来をつかむことを願っている。諸君の、人の話しを聴く態度のすばらしさはここ数年の加治木高校の生徒の中で目を見張るものがある。ただ一つだけ望むことはいろいろな話を自分のものにし、自ら考え行動する力をもつと育ててほしい。今後の人生での活躍を期待している。

一・二年生諸君、今回のセンター試験の結果から見ても一年次からの学習に対する取り組みがいかにか大切か実感できる。センター試験の問題は、ほとんどが一・二年次の学習内容から出題されており、基礎基本の定着の上で一ランク上の学力(応用力・思考力)が必要になってくる。したがって今、この時を大切にしてほしい。一日の大半を過ごすのは学校である。授業で勝負し、自身の濃い時間にするために予習が大変重要なのである。予習で理解できなかつた点を授業で確認し、理解する。そして復習し、定着させること。よって実力が身に付いていくのである。予習で自ら考え解くことは、思考力・読解力・分析力などを養うことになる。これが難問を解く二次力となっていく。ぜひ、目標をしっかりと持ち、それを勝ち取るために、家庭での学習に真摯に取り組むことを望む。

三学期は新学年の0学期と言われている。今この時期に志望校を決定し、しっかりと目標を持って突き進める生徒には「合格」が待っている。全力で勉強に励んでほしい。

平成十九年度 一日遠行

体育科 富岡 剛

一日遠行は加治木高校が百周年の時に記念行事として始まり、創立百周年を迎えた本年度は、十一回目となった。

コースは起伏に富み、生徒たちにとって、大変な難コースであるが、色彩豊かな紅葉、鳥のさえずり、澄んだ空気が迎えてくれる。そして次期大河ドラマ「篤姫」の撮影が行われた龍門司坂をコースの一部に含み、またここ加治木高校も加治木島津家城跡として、島津義弘公・家久公が居住していたこともあるなど島津ゆかりの地で、古き歴史を回想しながら進むことのできる、すばらしいコースである。

十一月二十二日、雲ひとつない秋晴の下、男子二百九十一名が三十五キロ・女子二百八十五名が、三十キロ先のゴール目指してスタートした。トップは男子が二年二組の吉永大樹さん(二時間三十四分)・女子は一年三組の細園智美さん(二時間三十七分)がゴールした。

何よりもすばらしかったのは、大きなけがもなく無事に遠行を終えることができたことである。そして、生徒たちの強靱な体力と強い精神力には驚かされ、感動を与えてもらった。

また生徒たちにとっても、お互い励ましあいながら友情を深めたこと、沿道からの応援や給水所での温かいもてなし等忘れ難い思い出となり、そして困難を乗り越えた経験は、これからの学校生活へ向けて大きな自信となるに違いない。

一日遠行の成功は、運営にご協力いただいたPTA役員の方々・保護者や地域の方々の協力があったからこそなし得たものであります。ここに深く感謝申し上げます。



修学旅行を終えて

二学年主任 北 浩憲

予想に反する雪の少なさに戸惑いを感じながら、新千歳空港に降り立ったのは十二月十一日の午後であった。その日は北海道の寒さを感じる意味しみながら黄昏の小樽の街を散策し、明日からのスキー体験に思いを馳せつつ、にぎやかな夕食となった。

二日目、三日目はスキー教室。初めてとは思えないほどの見事な滑りを見せる人。友人と助け合いながらも悪戦苦闘する人。スキーの上達度は様々であったが、みんな普段学校では見られないような生き生きとした表情をしていた。最後の閉講式でインストラクターの方がこんなことを言われた。「スキーは自転車と同じ。一度滑れるようになると、この後長い間やらなくても体が覚えていて、次はすぐに滑れるよ。」そうであれば、生徒たちは一生の宝物をこの旅行で手に入れたことになるなあ、と嬉しくなった。北海道最後の夕食では、ささやかなパーティーイベントもあって大いに盛り上がった。

霧島市街地の夜景を眼下に見ながら鹿児島空港に帰着したのが十二月十四日。途中、抱えきれない程のお土産を買込んだ生徒もいたが、みんなそれぞれの胸の中には、それに負けないくらい多くの思い出を抱えていたに違いない。そしてその思い出はおそらく一生忘れ得ないものになるだろう。体調不良で十分楽しめなかった生徒もいてそれは残念だったが、全員無事帰ってこれたことは何よりであった。





県民の森 ②オートキャンプ場 入り口 26名

◀美しい紅葉をバックに記念撮影!

▽子どもたちの学校や部活で見せる表情とは少し違う楽しそうな笑顔が印象的!▽給水時、子どもたちの「ありがとうございます」の声に、今の若者も捨てたもんじゃないかと感動!▽ランナー通過後の親睦茶話会で、役員OBの森田千佳子さんから受験や子育てなどのアドバイスをいただきとても楽しく勉強になった▽お天気よし!紅葉よし!お母さん方よし!お茶もごちそうもよし!▽高校のPTAがこんなに楽しいなんて!



③竹山ダム 21名

▽「竹山ダム給水所もう少しガンバレ」の言葉(ダンボール看板)に「ありがとう」と言ってくれた子どもたち。思いが通じてうれしかった▽運動の得意不得意がある中でほぼ全員がゴールを目指すのはすごい!▽車での移動が多い中、長い距離を歩き自分と向き合うこと、友だちと励まし合うことなど、これからは「遠行」を糧に自信を持って前進してほしい▽保護者の声援に「ありがとう」と応える子、笑顔を見せる子など様々!



同窓会の二見剛史さんも応援▲

旧JAあいら

④辺川支所前 13名

提水流バス停横の自治会長さん宅からJAあいら辺川支所前に変更になり、テントも設置され快適な給水所となった▽時折、強風でテントが飛ばされそうになった▽携帯の電波が届かない!竹山ダムからの1位通過情報が来ないし、次の龍門司坂に連絡もできなかった!



龍門司坂



旧JAあいら

⑤龍門司坂 16名

▽国の文化財にも指定、テレビドラマのロケ地にもなった龍門司坂みんな知っていたかな?▽チョコレートは坂の降り口の日陰に避難▽差し入れの梅干しとミカンが好評!▽冷たい水でコップ洗いに徹して下さった「チーム牧園」の三人組のみなさんに感謝!▽歴史ある場所にふさわしい?新小田先生や中原先生らの声援が心強い▽龍門司坂の下り口を間違えないでね!



龍門司坂-ランナーを拍手で迎える協力者たち

⑥学校ゴール 21名

9時に集合▽グラウンドに水道が設置されたことでリーダーを中心に水くみ作業が円滑に!▽ゴールの子どもたちに応援する保護者が少なくてさみしい感じ▽チョコレートが大人気でゴールラッシュの時間帯には不足して買い足しに走った▽ゴール付近の路地でコースを間違う子どももいたので分かりやすい案内看板を!

来年は、たくさんの保護者の応援でゴールする子どもたちを迎えたいですね!



学校の様子 (貴賓館側の門から入ってくる)

一日遠行

県民の森

オートキャンプ場

竹山ダム

旧JAあいら

龍門司坂



茶話会では親睦も深まりました

①県民の森中央広場 30名

▽一番の収穫は子どもたちの頑張る姿が見られたこと▽お煮しめや炊き込みご飯のおにぎり、おはぎなど差し入れもたくさんあったので「楽しく美味しく参加!」▽チェックポイントや計数係の生徒にアメやチョコをあげ忘れて反省!▽前年度経験者や父親の参加もあり、とてもスムーズに流れた▽ゴミ袋も手分けして持ち帰ってもらい感謝



県民の森中央広場 30名の協力者

●女子スタート 北山野外研修センター



●男子スタート 寺師十文字

今年はお天気にも恵まれました!男子は始良町寺師公民館前から9時スタート!



2007年加治木高校

創立110周年!一日遠行

百周年を記念して始まり、今回が111回目!

第11回一日遠行

男子 35km 女子 30km

平成19年11月22日(木)実施
PTA 給水協力者 136名
参加者 1・2年生
男子 291名
女子 285名



出発の様子



学校

卒業

今年も302名が卒業して新たなスタートを切ります。5名の保護者の方に卒業に寄せる思いを質問形式や寄稿で語って頂きました！

親子ともに学び育てられた

3年P 繪柳 千世子

A1 研修視察で熊本に行ったこと。道中も楽しい一日でした。毎朝、自転車で行く後姿を見送りながら成長を感じました。
A2 なんといっても体育祭！生徒たちが一生懸命、競技に打ち込む姿に感動！
A3 高一の秋から父親が単身赴任して母と息子二人の生活になり、くうたらにならないう苦勞しました。
A4 毎日のお弁当に、「庭にある南天の葉」を入れていきます！殺菌効果があり、一日中緑色がきれいなままで、緑起もいのです。
A5 PTA母の会役員を二年間させてもらい、息子同様に自分もたくさん学び、育てていただきました。ありがとうございます。

母校記念の年に巡りあえて

3年P 堂込 かおり

A1 長男の入学から八年間、息子三人が「加高での思い出」を共有できたこと。
A2 部活のサッカーや遠行での試練、受験を目前にする時など、「自分自身との闘いに全力を尽くす姿」に、成長を実感！
A3 体育祭・文化祭・遠行・研修視察など保護者間で充実した楽しい時を過ごすことができました。
A4 毎朝、「起きて！」から「行ってらっしゃい！」と送り出すまで「何でもいから！」と手抜き弁当にも寛容で謙虚な（あきらめ？）息子たち。学食にもお世話になりました！
A5 加高創立八十周年の時に在学、保護者となり百周年記念の年に巡り合え、子どもと共に多くの貴重な思い出をいただきました。
A6 変わらぬ加高の伝統や大改修工事です新しくなった学び舎に感慨無量！多感な青春時代をここ加治木高校で素晴らしい先生方や友人の皆様方と過ごすことができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

たくさんさんの思い出と出会いが

3年P 弟子丸 政江

A1 最後の弓道県大会で6位に入賞！応援に行き涙々！自分の意志をはっきりと主張した時（少しずつ親離れ）
A2 文化祭「PTAお休み処」で五百個のパン販売！（チケット作りや前日準備など関わった）
A3 毎日のお弁当メニューに苦勞
A4 長女の中3の二期から六年半、冷凍食品のお世話になることも多かったと反省・・・
A5 いろいろな学校行事やPTA活動に参加させてもらいたくさんの思い出と素晴らしい出会いをもらったことに感謝

文化祭お休み処では500個のパン販売！書道室でパンの仕上げ中！



▲弓道部練習風景



顧問の中村良三先生(後列右から二人目) 松元拓也先生(後列右端)、満村和洋先生(後列左端)



昨年10月の研修視察では熊本大学を訪問

成長に感謝！これからも日々成長

3年P 濱崎 房子

入学して間もなく、「サッカー部に入部するから！」と。部活はしてほしいと思っていたので反対はしなかったが心配はあった。部員数も多く経験者ばかりで補欠にもなれない・・・三年間練習に付いて行けるだろうか。親の思いとは違い「大丈夫、部活に行つて皆とボールを追いかけるだけで楽しいから！」と。
 毎朝五時起床のJR通学、夜は八時半に帰宅、家族で食卓を囲む時は九時過ぎ。親としては学業との両立を望んでいたが、顔を見ても「早く寝なさい」、諸先生方すみませんでした。学業との両立に悩む時「加治木高校で良かったの？」と尋ねると「楽しいし！」と。JR通学を共にした仲間、クラスメート、部員の皆様のお陰と思っています。
 文化祭・体育祭と毎回夫婦で応援、兄弟五年間通学し、ミツちゃんこと満村先生には四年間も担任して頂き、家庭でもよく学校の話題が出ました。
 子どもと一緒にPTA活動五年間も卒業です。「お母さんが、いちばん長く加治木高校と縁があったから！」と、百周年記念ストラップを手渡してくれました。「心からありがとうございます！」日々成長を実感した高校生活に感謝、感謝です。

ありがとう 加治木高校

3年P 宮原 孝子

「紫匂う桜島♪加治木高校お我等」懐かしのメロディーではないけれど、思い出しました。かつて、自分も高らかに(?)歌っていたあの頃を。
 十年前の春、長男の入学以来、我が家の四人の子どもたちは、皆この歴史と伝統を誇る加治木高校で、素晴らしい三年間を送る事ができました。
 大正、昭和、平成にわたり、それぞれの人間美学を学ばせて頂きました。
 体育祭、文化祭、遠行、九州大会等・・・その時の子どもたちの表情まで鮮明に蘇ります。みんなよく頑張りました。
 順風満帆とは言えず、親子で苦悩した日々もありました。我が家の一大事には、必ず、父親の出番で危機を乗り越えてきました。夢も希望もあるけれど、まずは心身共に健康であればと、願うのみです。
 献身的にご指導下さる先生方、いつも支えてくれる友だち、部活の仲間たち、全ての方々に感謝し、この春、親子共に卒業します。卒業生の皆様が、これからますます飛躍されますことをお祈りいたします。本当に長い間ありがとうございます。

●行事案内●
 加治木高等学校
 第23回 吹奏楽部
 定期演奏会
 五月十八日(日)
 午後一時三十分開演
 加音ホールで開催

Q1 一番の思い出は何？

Q2 子どもの成長を感じるときは？

Q3 楽しかった学校行事は？

Q4 苦労したことは？

Q5 お弁当について

Q6 最後に一言！

百人一首クラブ
部員求む!
 3年生が卒業して部員ゼロに
 小倉 八重子 部長
 加治木 真由美 副部長
 小倉 八重子 部長
 加治木 真由美 副部長
 △昨年夏の全国大会より
 高中学美さん(左) 安藤芽以さん(中央) 森るみ子先生(右)

君よ涙で振り返れ

三学年主任 種子田 弘之

卒業おめでとう。さあ、いよいよ青春の後半戦のスタートだ。明日からの皆さん方は決められたレールを走るのではない。自らの夢や目標に向かって、自らのレールを築いていかねばならないのだ。たとえ深い谷があるろうとも、高い山があるろうとも、嵐に吹かれようが、吹雪に行く手を遮られようが、自分自身でそれを乗り越えていくしかないのだ。夢や目標は皆さん方から離れたり逃げたりしていくことは決してないし、向こうから近付いてくることもない。離れたり逃げたりするのは我々人間のほうなのであり、自分で近付いていかねばならないものだと思ふ。だが、皆さん方の前途は順風満帆というわけにはいかないだろう。でも、真つ直ぐなレールでなくてもいい、速い列車でなくてもいい、立ち止まってもかまわない、引き返したつてかまわない。最後に目的地に着すればそれでいいはずだ。

卒業おめでとうー人生いろいろ

保健体育科 柿元 信一

大河ドラマ「篤姫」で、久しぶりに鹿兒島が舞台となり、撮影場所となった指宿市や鹿兒島市は、様々なイベントで賑わっている。正月早々、ホットな情報に遭遇した。元旦の新聞記事の特集に、見覚えのある名前と写真を見つけたのだ。まさかと思いつつプロフィールを見ると、前々任校

の教え子であった。高校のバレー部員だった彼女は、将来国語の教師を目指して進学したのだが、大学卒業後は俳優の道へ進んだ。その彼女が、なんと今話題になっている大河ドラマ「篤姫」に今和泉島津家の女中役として出演しているではないか。鹿兒島弁の方言ができる役者として活躍しているらしい。

人間誰しも生まれつき何か一つの抜きん出た才能を備えている。その才能を、どこで発揮するかで、人生は変わるものである。今回の彼女のドラマ出演で、「人生」「才能」というものを考えさせられた元旦であった。卒業生の皆さんは、これから自分の希望に向かって全力投球で進んでいかれるでしょう。自分の才能をいかんなく発揮する時がくるでしょう。自分の持つ才能の導火線に火をつけ、世のため人のために、熱く燃え上がらせて欲しいと期待します。

教頭 屋村 優一郎

卒業おめでとう。加治木高校での学校生活は校は一清新澗刺・質朴剛毅・堅忍不拔のもと親友と切磋琢磨し精神的にも肉体的にも大きく成長した三年間だったと思います。今年度は百周年の節目の年でした。同窓の先輩の方々も熱い思いや加治木高校の伝統の重さを肌で感じたことでしょうか。この学舎から夢と希望に溢れ羽ばたこうとしています。これから歩み出す大きな社会では更に物事の本質を見極める力と行動力が求められます。

飛ぶ鳥の目からみたように描いた鳥瞰図というものがあります。そんな地図を観る度にその地域のことを知り尽くしていると感じさせられます。高岡公園に登ると加治木の町全体が見渡せます。勿論加治木高校も小さく見渡しますが町での位置も含めてその姿を把握することが出来ます。加治木町の鳥瞰図は描けなくても

学校はきつと描くことができるでしょう。それは母校を熟知しているからです。物事の本質を捉えたとき初めてその全体を描き出すことができます。つまり初めてその物事の本質を掴んだといえるのです。一生かかっても断片的にしかな本質を捉えることができないことが多いのですが、自分の専門や仕事に鳥瞰図のような絵を描きあげてほしいと思います。

また、「コロンブスの卵」という言葉があります。当たり前過ぎて誰も試みなかった方法で成功することです。しかし、その方法は幾多の試行錯誤の結果出てきた結論だと思えます。湯川秀樹博士がパイ中間子の着想を得たのは寝床の中だといわれています。何度も可能性を反し返しているうちに解決の糸口や可能性を発見するので。積極的なチャレンジの中にこそ本当の答えがあるでしょう。

加治木高校で学んだことのすべてが人生のベースです。自信と誇りと勇気を持って力強く自分の人生を切り開いてください。

一歩ずつ前進

英語科 久保田 実穂

卒業おめでとう。今後、みなさんの目の前の世界は急激に広がり、自分の可能性を試す機会が多くなるでしょう。選択肢が増えすぎることで、将来の明確な目標を見失い、あせることがあるかもしれません。もしそうになったら、今この瞬間の人生を充実させよう、そこから少しでも前進しようという意思を持ちましょう。合言葉は、一歩前進です。今の課題に一生懸命取り組むことに関心が向かず、ただ自分を別の場所や条件に「ずらす」とを求めている、逃げの人生になりません。新しい世界に羽ばたくみなさん。新しい環境のおかげで、今まで自分にはできなかったことが急にならざるを得ない自分という人間は成長しないのだと思います。だからこそ昨日の自分より成長し

た今日の自分でいてほしいのです。未知なる可能性を持ったみなさん。ぜひ夢の風船を大きく膨らませて下さい。もしその夢がうまくいかず、風船がはじけたとしても、その破片から何かが作れるはず。そこから前に進みましょう。活躍を心から期待しています。

学校活動 活動実績

【全国高校総合文化祭島根大会出場】

- 美術 3年 濱川夏希
文芸 2年 梶みなみ
百人一首 3年 安藤芽以
3年 畠中愛美

【地区ブロック大会】

- ▽ハンドボール 南九州大会 男子4位
(県大会)

▽陸上 新人駅伝 21位

▽剣道 勝ち抜き大会 1回戦

▽弓道 選手権 団体 男子6位

▽バレーボール 春高大会 男子1回戦

▽ハンドボール 新人大会 男子4回戦

▽テニス 樋口杯 女子 2回戦

▽2年シングルス 池田3位

▽1年ダブルス 富脇・菊池ベスト8

▽サッカー 新人大会 4回戦

▽美術部 県高校美術展

優秀賞 2年 大脇萌希

(20年度九州高校美術書写写真展出場決定)

奨励賞 2年 松岡奏

入賞 5名

▽書道部 県書道展 学校賞

県書道会賞 2年 福岡奈央

2年 福元菜月

▽演劇部 冬季県大会 優秀賞

▽文芸部 高校生文芸道場総合大会出場

2年 梶みなみ

【始良・伊佐地区秋季大会】

▽ラグビー 優勝

▽柔道 60kg級 前田 優勝